

WGテーマ

敬称略

①、②、③を記入

2016年度SG分科会テーマ (WG編成後、タイトル変更可能)	内容	C(コーディネーター) L(WGリーダー)	M(WGメンバー) A(アドバイザー)	発表希望月優先順位①、②、③
①企業不祥事と第三者委員会	企業不祥事が発覚すると、第三者委員会が設置されますが、その報告書はどのように活用されるのかを検討する。	C: 富士石油(株) 中山祐伸(元) L: 相談中	M1: 小田急電鉄(株) 川田勝美(元) M2: 中部東芝エンジニアリング(株) 吉田郁夫(現) M3: (株)極楽湯 山田貞一(現)	①3月、②4月
②企業不祥事の未然予防と早期発見に対する監査役の実務対応および不祥事発生時の初期対応の研究	会員企業の監査役が不祥事の未然防止と早期発見を目的としてどのように内部統制システム構築や運用についての業務監査に取り組んでいるかを研究調査する。また、不祥事が発生した時の会社としての初期対応がその後のレピュテーションに大きく影響している。過去の事例から会社を救う初期対応を研究する。	C: 中部東芝エンジニアリング(株) 吉田郁夫(現) L: (株)カナデン 杉山通人(現)	M1: (株)システムインテグレータ 眞田宗興(現) M2: (株)カナデン 杉山通人(現) M3: (株)極楽湯 山田貞一(現)	①11月
④「SSコード及びCGコード・フォローアップ会議」と各社の対応状況	「ステewardシップ・コード及びコーポレート・ガバナンス・コードのフォローアップ会議」での議論を踏まえて、各社の対応状況と課題・問題点を明らかにする。	C: 丸紅建材リース(株) 小野信(現) L: 日本オキシラン(株) 板垣隆夫(元)	M1: (株)建設技術研究所 田中康郎(現) M2: 農中信託銀行(株) 鈴木充郎(元) M3: 丸紅建材リース(株) 小野信(現) M4: 東邦アセチレン(株) 渡部潔(現)	①2月、②1月、③3月
⑥新任監査役が手始めにやるべきこととは	監査役は就任早々、善管注意義務と監視義務を負うが、まず手始めに何から手を付け(計画書・監査役基準・法令・過去歴調査等々)れば良かったのか? 新任監査役達への提言書のようなものを先輩監査役として模索する。	C: 日本鑄造(株) 北條幸一(現) L: 王子タック(株) 荒木道雄(現)	M1: 日本貨物検数(一社) 岸俊雅(現) M2: 住商セメント(株) 上野正人(現) A: 日本鑄造(株) 北條幸一(現)	9月
⑧監査役会等の運営要領	各企業の特徴を確認しあう。又、監査役連絡会と名称変更した各企業GPの実態把握・意見交換等をおこなう。	C: 王子ネピア(株) 野口明雄(現) L: 王子ネピア(株) 野口明雄(現)	M1: 三菱プレジジョン(株) 廣瀬晴三(現) M2: 住友商事フィナンシャルマネジメント(株) 小西公明(現)	①12月 ②11月
⑬期中監査活動の方法および監査調書の作成・報告	監査役監査の方法は各社各様で異なるであろうが、その具体的な方法や監査調書の作成・報告について会員企業がどのように取り組んでいるかを研究調査する。	C: 王子タック(株) 荒木道雄(現) L: 王子タック(株) 荒木道雄(現)	M1: シリコンテクノロジー(株) 芦田昇(現) M2: 日本電産トソク(株) 米山辰三(現)	①2月、②3月、③1月
⑮会計監査人との連携と会計監査人の選解任(議案)について	連携の実態はどうか? 評価と選解任(議案)への影響およびその選解任の理由を研究する。	C: 住友三井オートサービス(株) 尾崎 徹(元) L: 相談中	M1: ライト工業(株) 木下博之(現) M2: 東京パワーグリッド(株) 松下洋二(現) M3: 王子エンジニアリング(株) 五艘洋司(現)	①4月、②3月
⑯監査役監査基準とコーポレート・ガバナンスの在り方について	公開会社は元より非公開会社においても、コーポレート・ガバナンスをコンプライする方向性が示されている。しかし、コーポレート・ガバナンスは攻めの姿勢が色濃く出ており、これをどう監査役監査基準に落とし込むか、各社において検討されている模様。会社法上の監査役義務との関係を含め、両者の在り方を研究する。	C: 三菱電機照明(株) 谷口明彦(現) L: ダイヤモンドテレコム(株) 増田富夫(現)	M1: 王子グリーンリソース(株) 西村博之(現) M2: 三菱電機照明(株) 谷口明彦(現) A: 日本オキシラン(株) 板垣隆夫(元)	①1月、②2月
⑰労働時間管理リスクと監査役役割	重労働の撲滅、働き方改革という動きの中で、わが国ではなお賃金不払い・36協定違反など改善すべき状況がある。労働時間管理の実態を調査し、内包するリスクと職場環境の改善に資する研究を行う。取組等 労働行政・厚労省の資料、各社アンケートなどにより、調査・分析を行い、労務リスクの軽減、職場環境の改善、企業価値向上に繋げる提言を行う。	C: エヌエス環境(株) 栗田好文(現) L: 旭洋紙バルブ(株) 岩本泰志(現)	M1: (株)スミカ 米倉有三(現) M2: エヌエス環境(株) 栗田好文(現)	①10月 ②11月